

操作説明書

RFIDリーダライタ『TF-AMI2450シリーズ』 添付ソフトウェア 操作説明書

リーダー設定ツール編



第 1.05 版 2017 年 10 月 6 日

このたびは本製品をお求めいただき、ありがとうございました。
本書は、RFID リーダライタ「TF-AMI2450 シリーズ」のリーダー設定ツールの操作説明書となっております。
本製品の取扱は、この操作説明書をご理解のうえご使用ください。

■ 改訂履歴

改訂日	版	対象	内容
15/09/29	1.00	全体	・新規作成
15/11/18	1.01	P.9	・設定読取、設定登録の実施タイミングを追記
16/11/18	1.04	P.10	・出力データの前後の空白を除去する機能を追加
17/10/6	1.05	P.4	・Microsoft .NET Framwork のバージョンを 2.0 から 3.5 に変更
		P.12	・読み取り／書き込みデータのテキスト対応機能を追加

■ 目次

1. 概要	4
1.1 動作環境	4
1.2 注意事項	4
2. アプリケーションのセットアップと起動方法	5
2.1 PC へのインストール	5
2.2 PC からアンインストール	6
2.3 アプリケーションの起動	6
2.4 アプリケーションの終了	7
3. リーダー設定ツール	8
3.1 接続ポート選択	8
3.2 動作条件設定	9
3.2.1 設定登録	11
3.2.2 設定読取	11
3.2.3 前回値呼出	11
3.3 リーダライタ機能	12
3.3.1 リーダライタ使用開始	12
3.3.2 UID 読み取り	12
3.3.3 ブロックメモリ読み取り	12
3.3.4 ブロックメモリ書込み	12

1. 概要

本書は、RFID リーダー・ライター「TF-AMI2450」シリーズ（以下「TF-AMI2450」）のリーダー設定ツール（以下「本ツール」）の操作説明書です。

本ツールは TF-AMI2450 の各種動作条件の設定を行うアプリケーションソフトです。

1.1 動作環境

本アプリケーションの動作に必要な環境は以下の通りです。

■動作環境

対応 OS	Windows 7 Professional 32Bit または 64Bit Microsoft .NET Framework3.5 必須
対応機種	<RS-232C 版> RS-232C または USB1.1 以上のポートを有する機種 <USB 版> USB1.1 以上のポートを有する機種
必要なディスク容量	300MB 以上 Microsoft .NET Framework3.5 のインストールに必要な容量を含む

1.2 注意事項

「RFID スキャナー」等の他のアプリケーションが TF-AMI2450 にアクセスを行っている場合は、本ツールから TF-AMI2450 にアクセスできませんので、他のアプリケーションを終了させてから行って下さい。

2. アプリケーションのセットアップと起動方法

2.1 PC へのインストール

(1) TF-AMI2450-SW CD 内の「setup」フォルダ内の setup.exe を実行します。

セットアップを実行するには管理者権限が必要です。管理者権限があるユーザーで実行してください。

(2) セットアッププログラムが起動します。

画面を確認し「次へ」ボタンでセットアップを進めください。




Windows Vista、Windows 7 では、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示された場合、「はい」を選択し続けてください。

(3) 「インストールが完了しました。」が表示されれば、セットアップ完了です。

2.2 PC からアンインストール

P Cからアンインストールをするときは、Windows のアンインストール機能を利用して行います。

(1) コントロールパネルを表示します。

(2)  プログラムと機能を選択します。

(3) 「TF-AMI2450 Setting Tool」を選択します。

TF-AMI2450 Setting Tool	TOPPAN_FORMS	2015/09/29	329 KB	1.0.2
-------------------------	--------------	------------	--------	-------

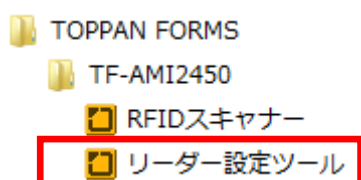
(4) 「アンインストール」を選択し、アンインストールを実行します。



(Windows Vista、Windows 7 ではユーザーアカウント制御ダイアログが表示されることがあります。「はい」を選択して継続してください。)

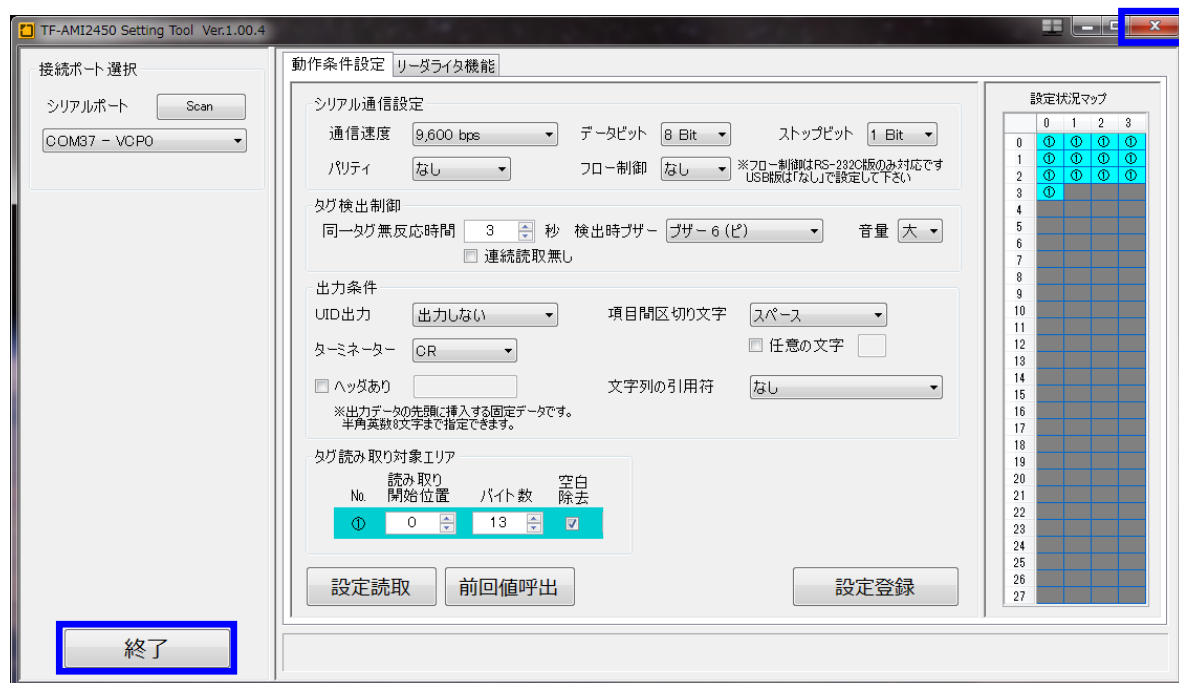
2.3 アプリケーションの起動

(1) スタートメニューの「すべてのプログラム」－「TOPPAN FORMS」－「TF-AMI2450」－「リーダ設定ツール」を選択します。



2.4 アプリケーションの終了

アプリケーションは「終了」ボタンまたは、画面左上の「×」ボタンを押下することにより、終了することができます。

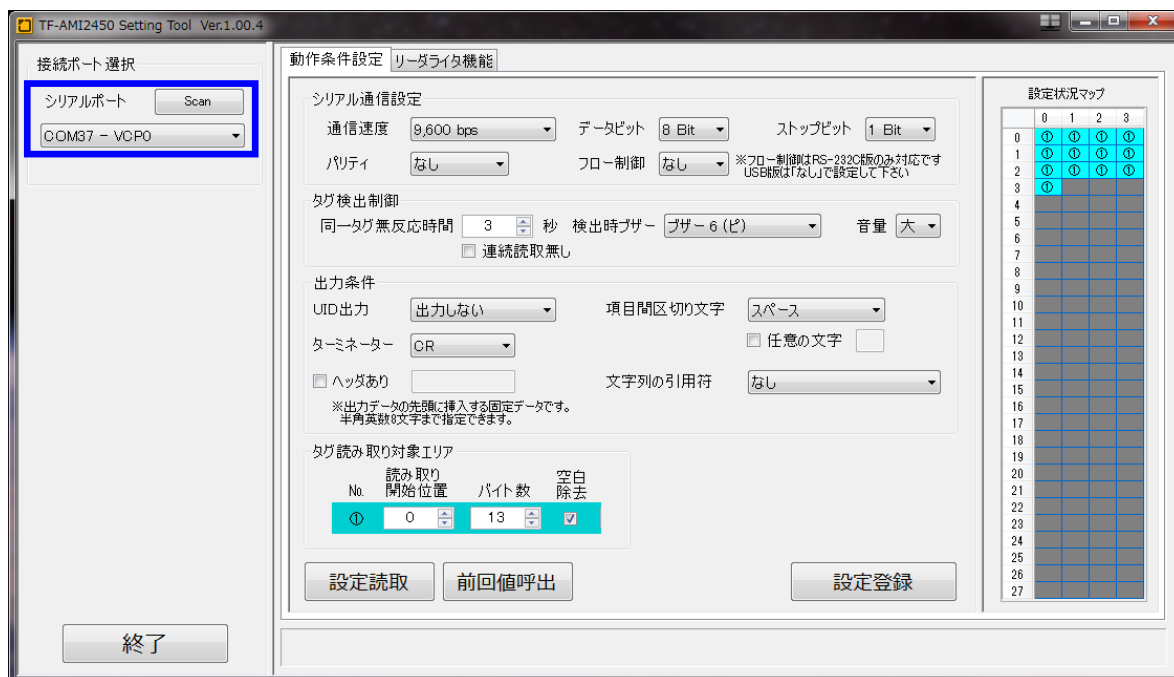


3. リーダー設定ツール

3.1 接続ポート選択

TF-AMI2450 が接続されているシリアルポートを選択して下さい。

※対象のシリアルポートが選択肢に存在しない場合は、「Scan」ボタンを押下すると、接続中のシリアルポートが表示されます。



TF-AMI2450 Setting Tool Ver.1.00.4

接続ポート選択

シリアルポート Scan

COM37 - VCP0

動作条件設定 リーダライタ機能

シリアル通信設定

通信速度 9,600 bps データビット 8 Bit ストップビット 1 Bit

パリティ なし フロー制御 なし ※フロー制御はRS-232C板のみ対応です
USB接続は「なし」で設定して下さい

タグ検出制御

同一タグ無反応時間 3 秒 検出時ブザー ブザー 6 (ビ) 音量 大

☐ 連続読取無し

出力条件

UID出力 出力しない 項目間区切り文字 スペース

ターミネーター QR ☐ 任意の文字

☐ ヘッダあり 文字列の引用符 なし

※出力データの先頭に挿入する固定データです。
半角英数8文字まで指定できます。

タグ読み取り対象エリア

No.	読み取り 開始位置	バイト数	空白 除去
①	0	13	<input checked="" type="checkbox"/>

設定読取 前回値呼出 設定登録

終了

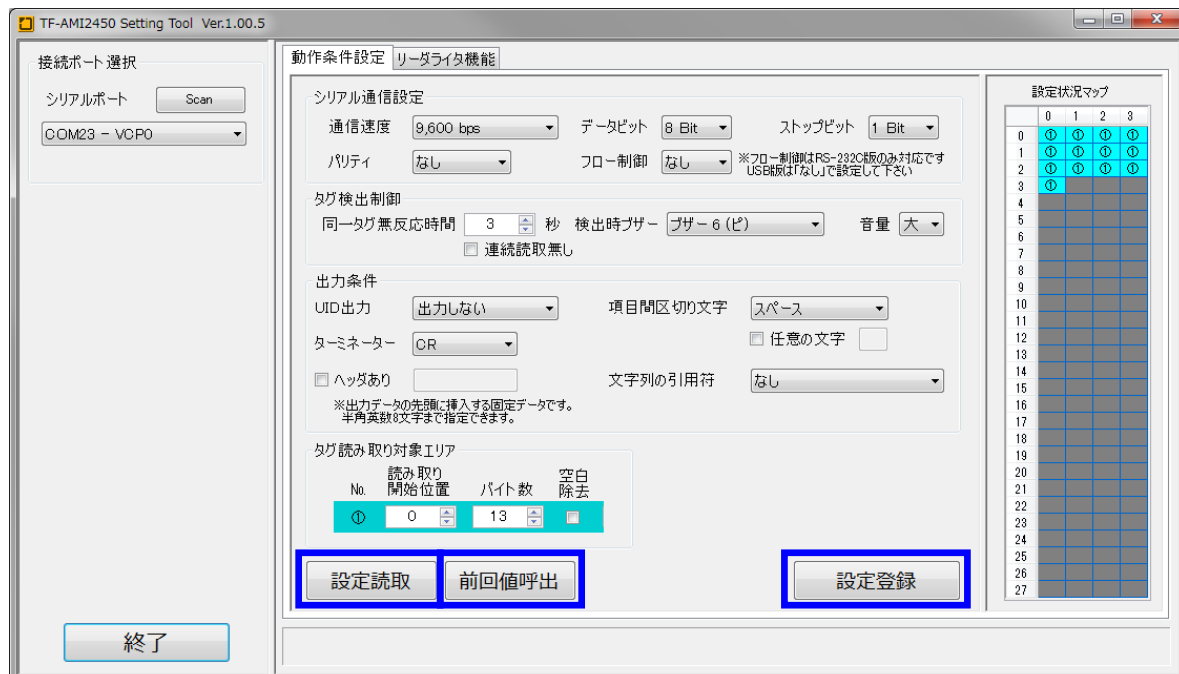
設定状況マップ

	0	1	2	3
0	①	①	①	①
1	①	①	①	①
2	①	①	①	①
3	①			
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				

3.2 動作条件設定

TF-AMI2450 の動作条件および、「RFID スキャナー」にて出力されるデータ構成を設定します。

※「設定読取」または、「設定登録」を行う場合、TF-AMI2450 の電源投入後、タグを検出する前に実施して下さい。



■ 動作条件設定項目

No.	項目	初期値	備考
■ シリアル通信設定(*)			
1	通信速度	9,600bps	通信速度を選択して下さい。 ・4,800 bps ・9,600 bps ・14,400 bps ・19,200 bps ・38,400 bps ・57,600 bps ・115,200 bps
2	データビット	8 Bit	データビットを選択して下さい。 ・7 Bit ・8 Bit
3	ストップビット	1 Bit	ストップビットを設定して下さい。 ・1 Bit ・2 Bit
4	パリティ	なし	パリティを選択して下さい。 ・なし ・偶数 ・奇数
5	フロー制御	なし	フロー制御は RS-232C 版のみ対応です USB 版は「なし」で設定して下さい

■ 動作条件設定項目(つづき)

No.	項目	初期値	備考
■ タグ検出制御			
6	同一タグ無反応時間	3 秒	<p>前回検出したタグと同一 UID のタグを検出した場合に、無反応とする秒数を設定して下さい。</p> <p>「連続読取無し」がチェックされている場合は、異なる UID のタグを検出するまで無反応となります。</p> <p>・0～60 秒</p>
7	検出時ブザー	ブザー 6 (ピ)	<p>タグ検出時に鳴動させるブザーのパターンを選択して下さい。</p> <p>・なし</p> <p>・ブザー 1 (ピー)</p> <p>・ブザー 2 (チャリン)</p> <p>・ブザー 3 (ピポ)</p> <p>・ブザー 4 (ピピピ)</p> <p>・ブザー 5 (ピピ)</p> <p>・ブザー 6 (ピ)</p>
8	音量	大	<p>ブザーの鳴動する音量を設定して下さい。</p> <p>・小</p> <p>・中</p> <p>・大</p>
■ 出力条件			
9	UID 出力	出力しない	<p>UID の出力有無、形式を選択して下さい。</p> <p>・出力しない</p> <p>・E0h を先頭に出力</p> <p>・E0h を末尾に出力</p>
10	項目間区切り文字	スペース	<p>項目毎の間に出力する文字を選択して下さい。</p> <p>・なし</p> <p>・セミコロン</p> <p>・カンマ</p> <p>・スペース</p>
11	ターミネーター	CR	<p>1 度のタグ検出にて出力される文字列の末尾に追加する文字を選択して下さい。</p> <p>・なし</p> <p>・CR</p> <p>・LF</p> <p>・CR+LF</p> <p>・TAB</p> <p>・ESC</p>
12	ヘッダ	なし	<p>出力データの先頭に挿入する固定データです。</p> <p>半角英数 8 文字まで指定できます。</p>
13	文字列の引用符	なし	<p>出力する文字列の引用符を選択して下さい。</p> <p>・なし</p> <p>・ダブルクォーテーション</p> <p>・シングルクォーテーション</p>

■ 動作条件設定項目(つづき)

No.	項目	初期値	備考
■ 出力条件(つづき)			
14	読取開始位置	0	検出したタグのユーザーエリア内の0から始まる読取開始位置を設定して下さい。
15	バイト数	13 バイト	読取開始位置から取得するバイト数を設定して下さい。 ※読取開始位置とバイト数の合計が 112 を超えると設定できません。
16	空白除去	オフ	チェックをONにしますと、出力する文字列の前後の空白を除去します。 文字列中の空白は除去しません。 例) 読取りデータ 「△△ABC△△123△△△」 出力するデータ 「ABC△△123」 ※上記△は空白を意味しています。

3.2.1 設定登録

「設定登録」ボタンを押下すると、TF-AMI2450 に動作条件設定を登録し、前回設定値として PC 内部に保存します。

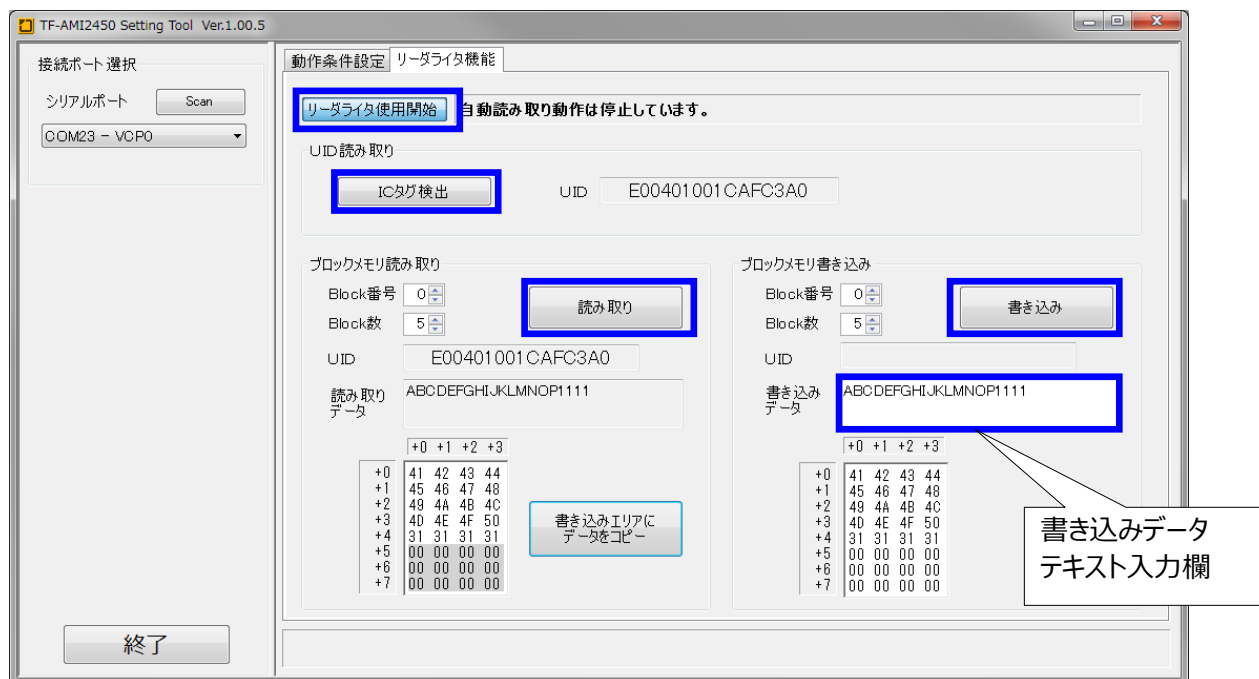
3.2.2 設定読取

「設定読取」ボタンを押下すると、TF-AMI2450 に登録されている動作条件を読み出し、設定値を表示します。

3.2.3 前回値呼出

「前回値呼出」ボタンを押下すると、前回「設定登録」を行った際に PC 内部に保存した前回設定値を読み出し、表示します。

3.3 リーダライタ機能



3.3.1 リーダライタ使用開始

TF-AMI2450 が接続されているリアルポートを選択し「リーダーライタ使用開始」ボタンを押下すると、TF-AMI2450 の自動読取機能を停止させ、本ツールの制御により読み取り／書き込み制御を行えるようになります。

再度「リーダーライタ使用開始」ボタンを押下すると本ツールからの制御はできなくなり、自動読取機能が動作を開始します。

3.3.2 UID 読み取り

「IC タグ検出」ボタンを押下すると、TF-AMI2450 の通信可能範囲にあるタグを検出し、検出した IC タグの UID を表示します。

3.3.3 ブロックメモリ読み取り

「読み取り」ボタンを押下すると、設定されたブロック番号からブロック数分のデータの読み取りを行い、読み取った内容を 16 進数と ASCII 変換した文字列で表示します。

また、「書き込みエリアにデータをコピー」ボタンを押下すると、読み取りデータがブロックメモリ書き込みのブロックデータにコピーされます。「Block 番号」と「Block 数」はコピーされませんのでご注意ください。

3.3.4 ブロックメモリ書き込み

「書き込み」ボタンを押下すると、設定されたブロック番号からブロック数分の 16 進数で指定した書き込みデータを IC タグのメモリに書き込みます。

書き込みデータはテキスト入力欄にて文字列で入力すると、自動的に 16 進数に変換して書き込みデータ欄に設定されます。16 進数の欄を編集してもテキスト欄には反映されませんのでご注意下さい。